

小学校国語

A問題での平均正答率は69.7%であり、物語における表現の特徴とその効果、登場人物の相互関係等について捉えることに課題がある。
B問題での平均正答率は52.7%であり、立場や根拠を明確にして話し合うことについて課題がある。

分類・区分集計結果

※平均正答率及び平均無解答率については、P.1の表を参照のこと。

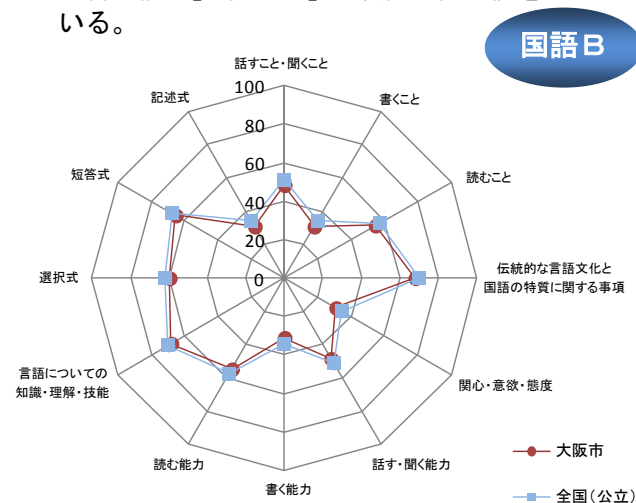
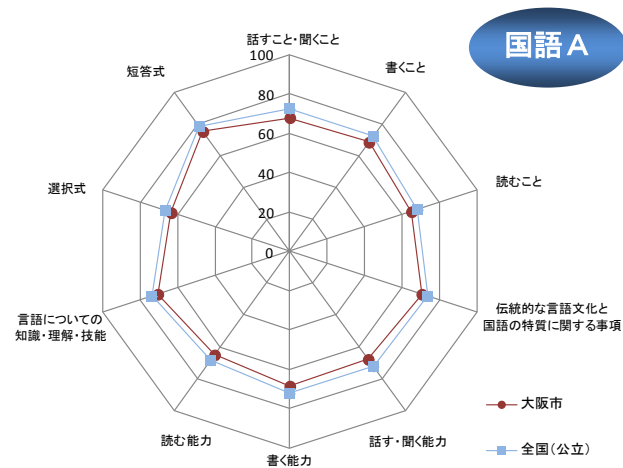
分類	区分	A問題（全15問）			B問題（全10問）		
		対象 設問数 H26	平均正答率(%)		対象 設問数 H26	平均正答率(%)	
			H26 大阪市	H26 全国		H26 大阪市	H26 全国
学習指導要領の 領域	話すこと・聞くこと	1	67.9	72.4	3	48.3	51.2
	書くこと	3	68.5	72.2	3	30.9	34.4
	読むこと	2	65.1	68.5	7	54.6	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12	70.6	73.7	2	67.9	69.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	—	—	3	30.9	34.4
	話す・聞く能力	1	67.9	72.4	3	48.3	51.2
	書く能力	3	68.5	72.2	3	30.9	34.4
	読む能力	2	65.1	68.5	7	54.6	57.3
	言語についての知識・理解・技能	12	70.6	73.7	2	67.9	69.8
問題形式	選択式	7	63.4	66.6	4	59.7	62.1
	短答式	8	75.2	78.5	3	65.2	67.7
	記述式	0	—	—	3	30.9	34.4

領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

■ A問題では、「読むこと」「読む能力」「選択式」の項目で低い値を示している。

■ B問題では、「書くこと」「関心・意欲・態度」「書く能力」「記述式」の項目で低い値を示している。



具体的な成果と課題

- 【国語A】 ◇漢字の読みや書きについては、相当数の児童ができていものがある。
◇「仮定の表現を用いて適切な文に書き直すこと」については、相当数の児童ができていものがある。
◆「故事成語の意味と使い方を理解すること」「物語を創作する際、情景描写の効果捉えること」等に課題がある。
- 【国語B】 ◆「立場を明確にして、質問や意見を述べること」「二つの詩を比べて読み、詩の解釈における着眼点の違いを捉えたり、自分の考えを書いたりすること」等に課題がある。

小学校算数

A問題での平均正答率は76.0%であり、図を観察して数量の関係を理解することに課題がある。
B問題での平均正答率は55.8%であり、根拠となる事柄を過不足なく示し、判断の理由を説明することに課題がある。

分類・区分集計結果

※平均正答率及び平均無解答率については、P.1の表を参照のこと。

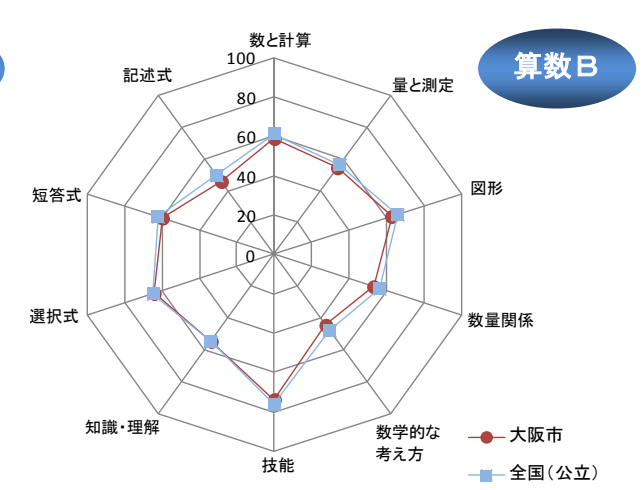
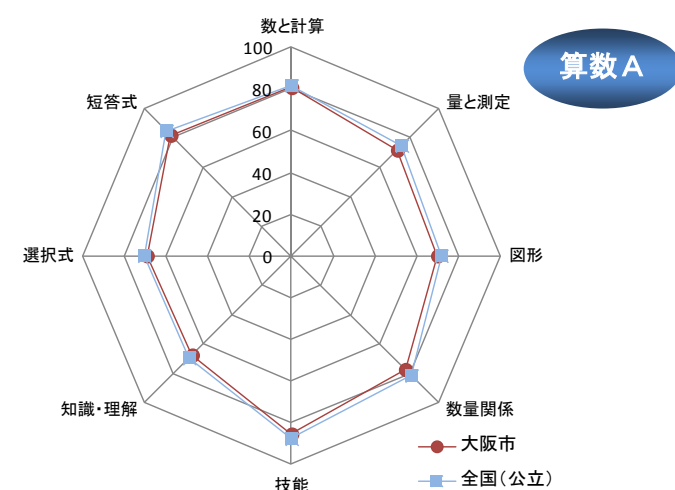
分類	区分	A問題（全17問）			B問題（全13問）		
		対象 設問数 H26	平均正答率(%)		対象 設問数 H26	平均正答率(%)	
			H26 大阪市	H26 全国		H26 大阪市	H26 全国
学習指導要領の 領域	数と計算	8	80.8	81.8	8	58.9	61.3
	量と測定	3	71.8	74.8	5	54.4	56.5
	図形	4	70.0	71.8	1	62.5	65.7
	数量関係	3	77.2	81.3	5	52.9	56.2
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	—	—	0	—	—
	数学的な考え方	0	—	—	6	44.4	47.8
	数量や図形についての技能	8	85.6	87.9	4	73.7	76.2
	数量や図形についての知識・理解	9	67.4	69.5	3	54.6	54.8
問題形式	選択式	8	69.3	70.7	4	64.2	64.7
	短答式	9	81.9	84.8	4	59.8	62.2
	記述式	0	—	—	5	45.8	49.7

領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

■ A問題では、「数と計算」「技能」「短答式」の項目で高い値を示している。

■ B問題では、「数学的な考え方」「記述式」の項目で低い値を示している。



具体的な成果と課題

- 【算数A】 ◇「計算の順序についてのきまりなどを理解すること」に、改善の状況が見られる。
◆「割合が1より小さい場合でも、比較量が(基準量)×(割合)で求められることを理解すること」「作図に用いられる図形の約束手帳や性質を理解すること」等に課題がある。
- 【算数B】 ◆「示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述すること」等に課題がある。